

## 1. これまでの高潮計画に沿って浸水を防止するための万全の対策

## 堤防等防護施設の耐震性・老朽化等の緊急点検

堤防等防護施設の高さ、耐震性・老朽化の度合い、水門・陸こう等の開口部の開閉機能等について再点検し、緊急に対策が必要な箇所を洗い出し。



築造後40年以上経過し老朽化が進んだ施設

## 「津波・高潮危機管理対策 緊急事業」を創設(H18年度)

壊滅的な津波・高潮災害から人命の優先的防護を図るため、地方が作成する計画に基づき、ハード・ソフト対策を一体的に展開。

(H17年度創設の「津波危機管理対策緊急事業」を拡充)

## &lt;メニュー&gt;

- 1) 水門の自動化・遠隔操作化等
- 2) 堤防護岸の破堤防止
- 3) 津波・高潮ハザードマップ作成支援
- 4) 津波防災ステーションの整備
- 5) 津波情報提供施設の設置
- 6) 避難用通路の設置 等

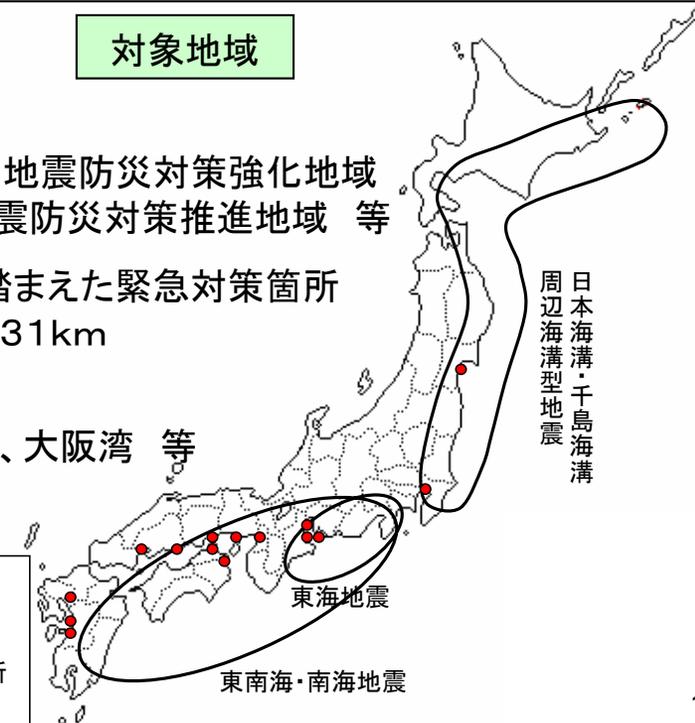
赤字：ゼロメートル地帯における高潮対策について拡充

## 対象地域

- ①重要沿岸域
  - ・ 東海地震に係る地震防災対策強化地域
  - ・ 東南海・南海地震防災対策推進地域 等
- ②菜生海岸災害を踏まえた緊急対策箇所
  - ・ 全国137箇所、31km
- ③ゼロメートル地帯
  - ・ 東京湾、伊勢湾、大阪湾 等

## 凡 例

- 重要沿岸域
- ゼロメートル地帯主要箇所



## 2. 大規模浸水を想定した被害最小化対策

浸水区域の拡大を防止するための浸入水制御

### 二線堤の整備

大洲市東大洲地区の暫定堤防(矢落川左岸)を越水して市街地に氾濫する洪水を拡散させないよう、市道の嵩上げによる二線堤を整備



個々の地域の危険度が実感できる情報提供

過去の洪水氾濫時の浸水深を電柱に表示



浸水深

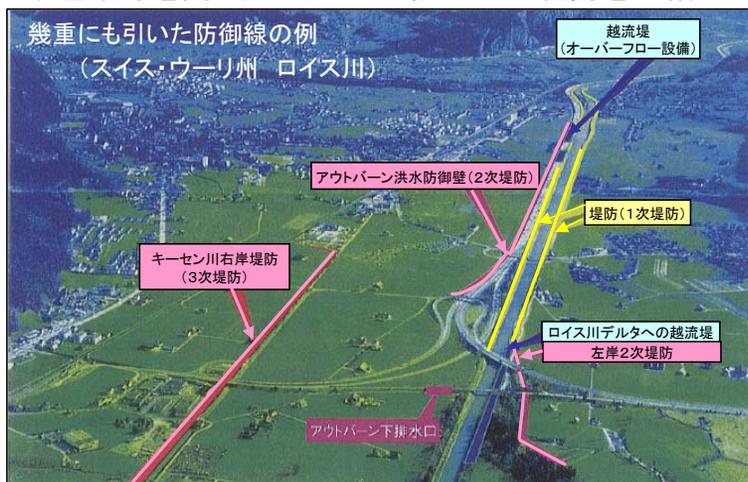
ここは昭和22年の洪水で利根川の堤防がこわれ赤い線まで浸水しました

埼玉県栗橋町

重要な情報を多くの人に効率よく伝えるために、人の集まりやすい駅前等で情報提供

### ○諸外国の事例

ドイツ、スイス、オーストリア等でも氾濫水の拡大を防止するため、道路等を高くするなどして幾重にも堤防を整備



川崎駅構内  
(多摩川、鶴見川)



新横浜駅前ロータリー  
(鶴見川)

## 2. 大規模浸水を想定した被害最小化対策

浸水や避難を想定した建築構造化の推進

ピロティー建築による耐水化



(鶴見川流域)



(中川・綾瀬流域)

止水板、土のうの常備等の備えへの誘導

・止水板の設置(鶴見川流域) ・土嚢の常備



浸水時にも機能する避難場所の確保

避難ビル

国府漁村センター緊急避難所  
(三重県志摩市)



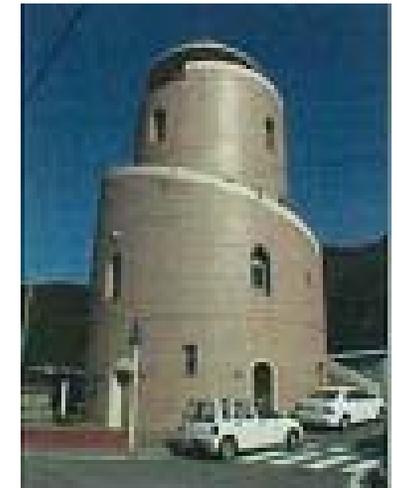
和歌山県串本町



片浜コミュニティ防災センター  
(静岡県相良町)



錦タワー(三重県大紀町)



## 2. 大規模浸水を想定した被害最小化対策

浸水時にも機能する避難路の確保

緊急避難路、救援路の確保



災害時には高速道路の側壁を撤去し緊急河川敷道路へのアクセスを可能とする協定をJHと締結。(復旧資材等を運搬)

鉄道駅と連携したペDESTリアンデッキ



(JR小倉駅)

ライフライン等の浸水時における機能維持

防水壁を設置し耐水化



防水壁(愛媛県大洲市松下寿工場)

